

## 平成 2 2 年度 事業 報告 書

### I 業 務

1. 畜産関係施設貸付事業 2,052,261 千円
- (1) 飼料生産利用施設の貸付事業 1,371,325 千円
- 1) 草地造成用機械施設
- 草地造成等のため、畜産関係法人 1 団体に対し、ハロー等 2 基、3,090 千円の貸付けを行った。
- 2) 自給飼料生産利用機械施設
- 牧草等飼料作物生産利用のため、農協等 42 団体に対し、主に農業者への再貸付分としてトラクター、ショベルローダー、ロールベアラー等 432 基、1,368,235 千円の貸付けを行った。
- (2) 家畜家きん飼養管理施設の貸付事業 562,221 千円
- 1) 生乳生産合理化施設
- ア) 搾乳施設
- 酪農経営の合理化を図るため、指定生乳生産者団体等 20 団体に対し、パイプラインミルクカー等 51 基、134,308 千円の貸付けを行った。
- イ) 生乳冷却貯蔵施設
- 生乳流通の合理化と品質の改善向上を図るため、指定生乳生産者団体等 28 団体に対し、バルククーラー等 89 基、258,465 千円の貸付けを行った。
- ウ) 生乳検査機械
- 乳質の管理と品質向上を図るため、農協 1 団体に対し、生乳成分分析装置 2 基、16,850 千円の貸付けを行った。
- 2) 畜舎環境改善機械施設
- 畜舎の環境改善を図るため、農協等 21 団体に対し、通風装置、節電装置、発情検知システム等 66 基、101,916 千円の貸付けを行った。
- 3) 中小家畜管理機械施設
- 中小家畜の飼養管理の合理化を図るため、農協 2 団体に対し、豚舎カーテン等 11 基、50,682 千円の貸付けを行った。

(3) 家畜畜産物流通施設の貸付事業 45,475 千円

1) 食肉食鶏処理流通施設

食肉食鶏の流通合理化を図るため、畜産関係法人等 4 団体に対し、冷凍車等 9 基、31,180 千円の貸付けを行った。

2) 鶏卵処理流通施設

鶏卵の流通合理化を図るため、農協等 4 団体に対し、異常卵検査装置等 6 基、14,295 千円の貸付けを行った。

(4) 特認機械施設の貸付事業 73,240 千円

上記のほか、畜産関係法人 2 団体及び 3 牧場に対し、化学物質分析器等 12 基、73,240 千円の貸付けを行った。

なお、畜産関係施設については、平成 22 年度から貸付期間の延長（短縮）、中古の自給飼料用機械等の貸付け及びふれあい牧場への貸付措置を講じたが、その実績は次のとおり。

① 貸付期間の延長等	12 県	55 基（うち延長 44 基）	223,701 千円
② 中古機械	2 県	2 基	2,430 千円
③ ふれあい牧場	1 県	1 基	6,300 千円

2. 乗馬施設貸付事業 55,235 千円

乗馬の普及を促進するため、乗馬の健全な普及を目的とする全国団体を通じ、乗馬クラブで使用するワゴン車、ホイールローダー等 12 基、55,235 千円の貸付けを行った。

3. 調査研究業務 5,700 千円

地方競馬の強い馬づくりに寄与するため、平成 19・20 年度で地方競馬教養センターに設置した坂路の効率的な利用指針の策定について、引き続き調査研究を行うとともに、東日本大震災により崩れた坂路の修復を行った。

4. 地方競馬用施設貸付事業 267,364 千円  
地方競馬の振興を図るため、地方競馬主催者等 5 団体に対し、投票券発払機、トータルシステム等 8 基、267,364 千円の貸付けを行った。
5. 飼料化機械改良実証事業（平成 21～23 年度 3 カ年事業） 35,510 千円  
前年度に引き続き、食品残さを活用したエコフィードの生産の省力化に資する機械の開発等 2 課題について、2 民間法人に対し調査研究（機器開発）を委託し、調査研究委員会で評価等を行った。
6. 馬事・畜産活性化推進事業 20,213 千円  
地方競馬の振興等に資するため、認定競馬活性化計画の補完、馬事・畜産の普及啓蒙、馬の防疫の体制強化等を実施する事業を対象とし、地方競馬主催者等 9 団体に対し助成を行った。
7. 貸付事業指導等委託事業 24,748 千円  
最終借受者に対し貸付機械施設の適正な導入と効率的な活用を指導し、また、新規貸付開拓を図るための指導等事業を、44 道府県畜産協会に委託して実施した。
8. 貸付資産の譲渡・除却 687,749 千円
- (1) 貸付期間終了譲渡  
平成 16～18 年度に貸し付けた施設のうち、貸付期間の終了した貸付施設を借受者へ譲渡した。  
1,368 基、取得に要した価額 2,465,699 千円、譲渡額 602,003 千円
- (2) 除却  
離農等の理由により、貸付契約の途中解約を行った。  
51 基、取得に要した価額 285,091 千円、繰上精算額 85,746 千円

## II 理事会等

### 1. 理事会、評議員会

平成22年 5月28日

第1回～2回 理事会

評議員（任期満了）の選任について

平成21年度事業報告・財務諸表等について

第1回 評議員会

平成21年度事業報告・財務諸表等について

平成22年10月 4日

第2回 評議員会

理事及び監事(後任)の選任について

平成23年 3月24日

第3回～5回 理事会

評議員（後任）の選任について

平成23年度事業計画・収支予算について

業務方法書の一部改正について

第3回～4回 評議員会

理事及び監事（後任）の選任について

平成23年度事業計画・収支予算について

### 2. 監査等

平成22年5月11日・12日

平成21年度の業務及び決算状況について、  
袖山公認会計士事務所の監査を受けた。

平成22年5月14日

平成21年度事業の運営及び会計経理全般  
にわたって、森監事の監査を受けた。

平成22年7月28日

平成21年度飼料化機械改良実証事業につ  
いて、財団法人全国競馬・畜産振興会の監査  
を受けた。

平成22年8月3日～5日

麻布税務署特別国税調査官による税務調査  
を受けた。

平成22年8月6日・20日

平成21年度の業務及び財産状況について、  
農林水産省の検査を受けた。

平成22年10月14日・15日 平成21年度の業務及び経理状況について、地方競馬全国協会の監査を受けた。

平成22年11月29日・30日 平成22年度の業務及び経理状況について、袖山公認会計士事務所の期中監査を受けた。

### 3. 承認等

平成22年 4月16日 農林水産大臣 業務方法書の一部改正について、申請のとおり承認された。

平成22年 6月16日 農林水産大臣 平成21年度事業報告書及び財務諸表等を農林水産大臣あて提出した。

平成23年 3月25日 農林水産大臣 平成23年度事業計画書及び収支予算書を農林水産大臣あて提出した。

### 4. 会議

#### (1) 業務推進事務打合せ会議

平成22年12月2日東京都内において、各都道府県及び指定生乳生産者団体等に対して、貸付事業の現況と実施上の留意事項等について説明会を開催した。

#### (2) 貸付機械施設販売業者情報交換会

平成22年12月8日東京都内において、全国の販売業者に対して、貸付事業の現況と貸付機械施設の売買上の留意事項等について説明会を開催した。

### Ⅲ 役員及び評議員の異動

下記のとおり異動があった。

	辞 任		就 任	
	辞 任 者	辞 任 年 月 日	就 任 者	就 任 年 月 日
理 事	安 齋 正 三	2 2 . 1 0 . 3	大 森 一 義	2 2 . 1 0 . 4
	雨 宮 敬 徳	2 3 . 3 . 2 3	酒 井 俊 夫	2 3 . 3 . 2 4
	大 前 憲 一	2 3 . 3 . 3 1		
評 議 員	後 藤 正 幸	2 3 . 3 . 1	鈴 木 良 治	2 3 . 3 . 2 4
	澤 井 義 雄	2 3 . 3 . 2 3	雨 宮 敬 徳	2 3 . 3 . 2 4
	三 浦 誠	2 3 . 3 . 3 1		
監 事	森 彪	2 2 . 1 0 . 3	酒 井 俊 夫	2 2 . 1 0 . 4
	酒 井 俊 夫	2 3 . 3 . 2 3	飯 田 道 夫	2 3 . 3 . 2 4